



岸田文雄（きだふみお）／外務大臣。昭和32年生まれ。昭和57年早大法学部卒。日本長期信用銀行に入社後、議員秘書となる。平成5年衆議院選挙で初当選。現在まで当選7回。建設政務次官、文部科学副大臣、内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策等）、消費者行政推進担当大臣、宇宙開発担当大臣を歴任。平成24年12月から現職。

植木▼ヨーロッパ経由で、当社便をご利用いただく参加者の皆さまも多数おいでになりますので、有意義な会議となるよう、機内では日本のおもてなしで十分に英気を養っていただきたいと思っています。さて、TICAD Vの主要議題はなんですか？

大臣▼私は3月にエチオピアで、TICAD Vの準備のために、各国の閣僚クラスを集めて協議の会合を開きました。アフリカ各国は、今の経済成長を一時的な

ものにせず、成長の質を高めて繁栄に繋げなければとの、強い決意を示しました。そのために、強固な経済基盤を整え、誰もが等しく豊かになる社会を築き、何より平和と安定を確保しなければなりません。こうした課題を、TICAD Vで議論する予定です。

植木▼日本は、今後アフリカの発展をどのように支援していくのでしょうか？

大臣▼アフリカの発展のため、インフラ整備と人材育成がまず重要でしょう。また、農業面の協力は、食料を確保し、農民の生活水準を上げることに繋がります。保健衛生の向上や、教育の充実にも、引き続き重点を置きます。これらの分野での協力に、官民一体となって取り組んでいくつもりです。さらに、アフリカの平和と安定には、国際社会の責任ある一員として、積極的に貢献します。日本はアフリカの声に耳を傾け、TICADを通じて、国際社会とともにアフリカ支援を強く推し進めて参ります。

植木▼当社は、現在のところアフリカへの定期便は運航していませんが、今後大きな発展が見込まれており、注目していくべき地域のひとつだと考えています。私たちも、アフリカ諸国の持続可能な発展に、日本の翼としてどのような応援ができるか考えていきたいと思っています。本日はありがとうございました。

明日の空へ

より良い社会を
繋げるために、
私たちができること。 vol.03

JAL
CSR REPORT

私たちが大切に考える4つの分野

日本と世界を結ぶ

安全・安心

次世代育成

環境



「躍動のアフリカと手を携えて」

対談

外務大臣

岸田文雄氏

日本航空代表取締役社長

植木義晴

私たち JAL は、航空輸送事業を通じ、地域と地域、人と人を結んで、様々な形で社会に貢献できるよう取り組んでいます。6月、日本はもちろん世界とアフリカを結び、国際社会とともにアフリカ支援を推進するため、日本が主導する「アフリカ開発会議（TICAD）」が開催されます。そこで、今回で5回目となるこの会議の目的や内容に関して、会議開催に向けた準備の指揮を執られる岸田外務大臣に、植木義晴がお話を伺いました。

※この対談は2013年4月17日に行われました



植木▼JALは、日本の翼として、日本と世界を結ぶことを私たちの事業の本質と捉え、社会のお役に立っていきたいと考えています。また、当社は6月初めに開催される第5回アフリカ開発会議（TICAD V）に、ホスト国のエアラインとして協力させていただいております。岸田大臣、TICADとはどのような会議ですか？

岸田大臣（以下大臣）▼日本の総理大臣が、アフリカ各国の大統領ほかの首脳に呼びかけて開催する、世界でも最大級の首脳会議です。日本は、1993年以来、5年ごとにTICADを開き、今年は5回目、20周年になります。アフリカの経済発展を促進し、また貧困や紛争といった課題を克服するために、どのように取り組むべきかを検討します。首脳会議だけでなく、シンポジウムなど様々な行事が行われ、アフリカに関心を持つたくさんの人々から、世界中から日本を訪れます。

植木▼遠く離れた日本



で、この会議を開催する意義はなんでしょうか？

大臣▼アフリカは近年、高い経済成長を継続しており、過去10年間のサブ・サハラアフリカ[※]での経済成長率は5・8%を記録しています。また、アジアにおいて人口の増加が止まる中で、アフリカでは高い人口増加率が維持され、2050年にはアフリカの人口は現在の2倍の20億人を超える見込みです。これに加え、豊富な天然資源の開発を活性化しており、世界の中でアフリカは、今後の成長センターとして注目され、日本企業も関心を高めています。アフリカの人々も、日本の高い技術力や、日本からの貿易・投資に期待をし、アジア諸国が迎ったような経済発展を望んでいます。TICADは、そうしたアフリカと日本の橋渡しをして、協力関係を強化する会合です。

植木▼今回の会議参加のために、何カ国の方々が来日されるのですか？

大臣▼TICADは回を重ねるにつれ、大きく成長しています。前回（2008年）の会議では、51カ国から41名の国家元首級が代表団とともに参加し、国際機関や市民社会を含めて3千名を超える人々の参加がありました。今回も、これ以上の参加が見込まれます。



paratory Meeting at

TICAD V関係者準備会合に参加した
アフリカ各国の閣僚との撮影に応じる
岸田外務大臣（於：アジスアベバ）

※註：サハラ砂漠以南のアフリカ

Special Message



(C)Rhythmedia inc.

アフリカへの思い ～TICAD V名誉大使 MISIAさん～

私は音楽を通じてアフリカを知りました。今もアフリカで音楽に触れる度に心が躍ります。また自然や文化、人々の考え方や知恵に感動することも多い一方で、アフリカには貧困や感染症・紛争といった課題も多くあります。しかし、この悲しい状況を打破する力を持つ、素晴らしいものがたくさんあることも日本の方に知って欲しいのです。アフリカから食べ物や衣類、資源など多くのものが日本に届き、私たちの生活を支えています。私たちと同じ時代に生きるアフリカのことに、どうぞ関心を持ってください。TICADが、日本とアフリカ、そして世界の未来を平和で明るく照らしてくれることを願っています。

MISIA／1998年『つつみ込むように…』でデビュー以来、圧倒的な歌唱力で世界中の人々を魅了する。一方で、生物多様性保全やアフリカの貧困撲滅など社会貢献活動にも積極的に取り組んでおり、今回のTICAD V開催に際しては、外務省より名誉大使に任命された。

🎧 MISIAさんによる TICAD V のテーマソング「MAWARE MAWARE (feat. Doudou N'Diaye Rose)」を、機内オーディオ番組「J ポップ・トゥデイ」にてお聴きいただけます。

私たちが取り組むCSR活動に関する詳細は、こちらでもご覧いただけます。 www.jal.com/ja/csr